

大分市感染症発生動向情報

(2024年第48週 11月25日～12月1日)

今週の動向について

(大分市保健所)

インフルエンザの患者報告数は**5.82**でした。 インフルエンザが流行する季節となりましたので、今後注意が必要です。

インフルエンザは、インフルエンザウイルスによって起こる感染症です。

- <症状> 1～3日ほどの潜伏期の後に発熱(38度以上の高熱)、頭痛、全身倦怠感、筋肉痛、関節痛などが突然現れ、咳や鼻水などの症状がこれに続きます。
- <経路> 手指に付着したウイルスや、感染者の咳、くしゃみや会話などで生じるウイルスを含んだ飛沫や空気中を漂うエアロゾルが、目や気道の粘膜に侵入することで感染します。
- <予防> 流水、石けんによる手洗い、咳エチケット(マスク等)を励行し、体の抵抗力を高めるために十分な休養とバランスのとれた栄養摂取、適度な湿度(50～60%)の保持を心がけましょう。

マイコプラズマ肺炎の患者報告数は**9.27**でした。 前週より減少していますが、引き続き注意が必要です。

マイコプラズマ肺炎は、マイコプラズマによって起こる感染症です。

- <症状> 2～3週間の潜伏期の後に、発熱、全身倦怠感、頭痛などが現れ、最初の症状出現の3～5日後から、乾いた咳が出始め、時間の経過とともに咳は強くなり、解熱した後も3～4週間程度、咳が続きます。
- <経路> 手指に付着した病原体や、感染者の咳、くしゃみや会話などで生じる病原体を含んだ飛沫が、目や気道の粘膜に侵入することで感染します。
- <予防> 流水、石けんによる手洗いが基本です。流水と石けんでしっかりと手を洗い、タオルの共用は避け、使い捨てのペーパータオル等を使用しましょう。

感染性胃腸炎の患者報告数は**13.73**でした。 前週より減少していますが、引き続き注意が必要です。

ウイルス性の感染性胃腸炎は、1年を通して発生しており、ノロウイルスやロタウイルスが原因で起こる疾患です。

- <症状> 原因となるウイルスなどによって異なりますが、主に嘔吐や下痢、腹痛、発熱などがみられます。
- <経路> 多くの場合、汚染された水や食品による経口感染や、感染者の嘔吐物や便に触れた手を介して感染します。
- <予防> 特に調理前・食事前や排便後の手洗いを十分に行い、タオルの共用は避けましょう。
- <処理> 嘔吐物や便などを処理する際はマスクや手袋を着用し、ペーパータオル等で嘔吐物や便を拭き取り、ビニール袋などに入れしっかり封をして廃棄してください。その後、嘔吐物・便のあった場所と汚れた衣服・物品を消毒液:水500ml+ペットボトルキャップ2杯の塩素系漂白剤(次亜塩素酸ナトリウム)で消毒してください。

手足口病の患者報告数は**3.00**でした。 前週より減少していますが、警報レベルが続いており、引き続き注意が必要です。

手足口病は、エンテロウイルスやコクサッキーウイルスによって起こる感染症です。

- <症状> 3～5日ほどの潜伏期の後に、口の中や手のひら、足の底に2～3mmの水疱性の発疹が出ます。発熱がみられることがありますが、あまり高熱にはなりません。その他には、食欲不振やのどの痛みなどの症状がみられます。
- <経路> 手指に付着したウイルスや、感染者の咳、くしゃみや会話などで生じるウイルスを含んだ飛沫が、目や気道の粘膜に侵入することで感染します。
- <予防> 流水、石けんによる手洗いが基本です。症状がなくなっても、しばらくの間は便からウイルスが排泄されます。食事の前やトイレの後、おむつを交換した後は、流水と石けんでしっかりと手を洗い、タオルの共用は避け、使い捨てのペーパータオル等を使用しましょう。

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13		
	インフルエンザ	新型コロナウイルス 感染症	RSウイルス 感染症	咽頭結膜熱 （プール熱）	A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘（水ぼうそう）	手足口病	伝染性紅斑 （リンゴ病）	突発性発疹	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎 （おたふくかぜ）	マイコプラズマ 肺炎		
年齢区分															
0歳	0.18	0.06		0.27		1.27		0.18	0.09	0.18			0.18		
1～3歳	0.41			0.82	1.09	4.55	0.18	2.27	0.09	0.64	0.09		0.73		
4～6歳	1.24		0.09	0.09	1.91	3.18		0.45					1.91		
7～9歳	1.94				1.09	3.09	0.18	0.09					3.91		
10～14歳	0.65	0.06			0.91	1.36							1.91		
15～19歳	0.18	0.41			0.09	0.18							0.64		
20歳以上	1.24	1.76				0.09									
計（今週）	5.82		2.29	0.09	1.18	5.09	13.73	0.36	3.00	0.18	0.82	0.09	0.00	9.27	
	再掲	A型													5.41
		B型													0.06
		不明													0.35
70歳以上 （再掲）	0.06		0.88												
前週	2.53		1.00	0.73	0.64	3.27	13.91	0.18	3.82	0.18	0.36	0.18	0.00	12.27	

※指定された医療機関(定点)から報告された患者数を、1定点あたりに概算して計上
(定点医療機関数 インフルエンザ・新型コロナウイルス17 小児科11)

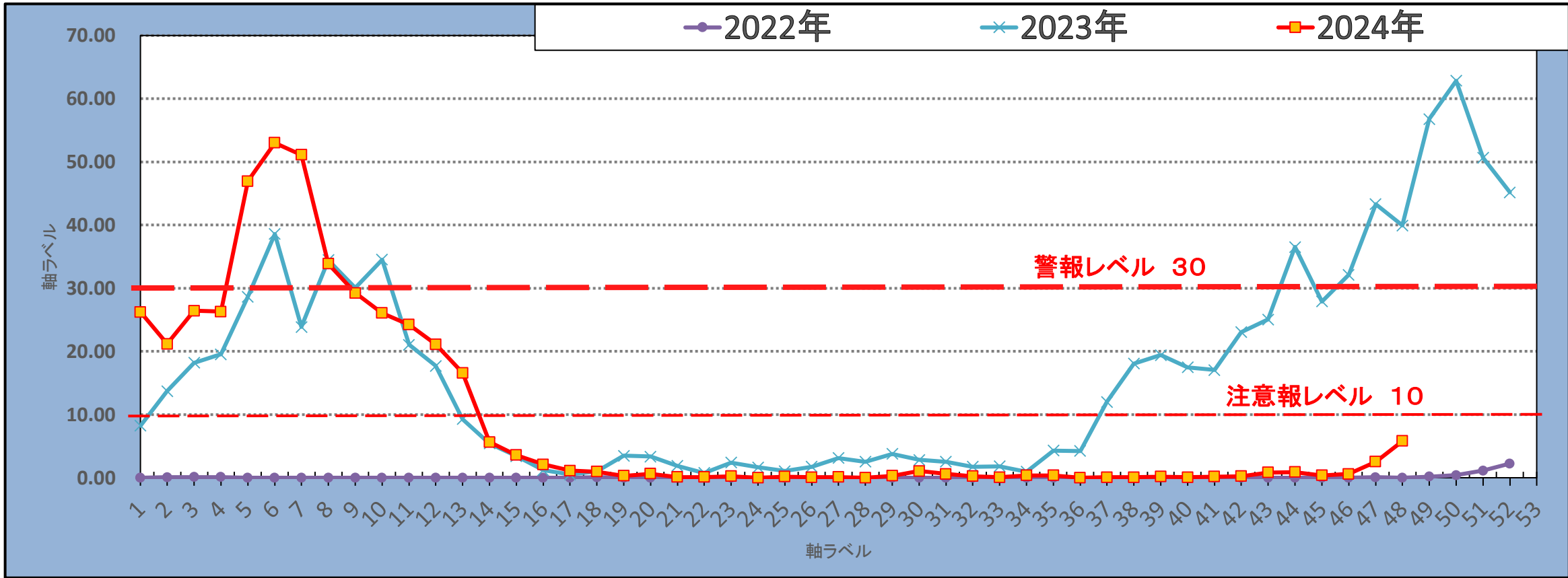
全数報告 (市内医療機関分)	年代	14歳以下	15～19歳	20～24歳	25歳以上
	麻しん	0	0	0	0
	風しん	0	0	0	0
	百日咳	0	0	0	0

警報・注意報の基準値

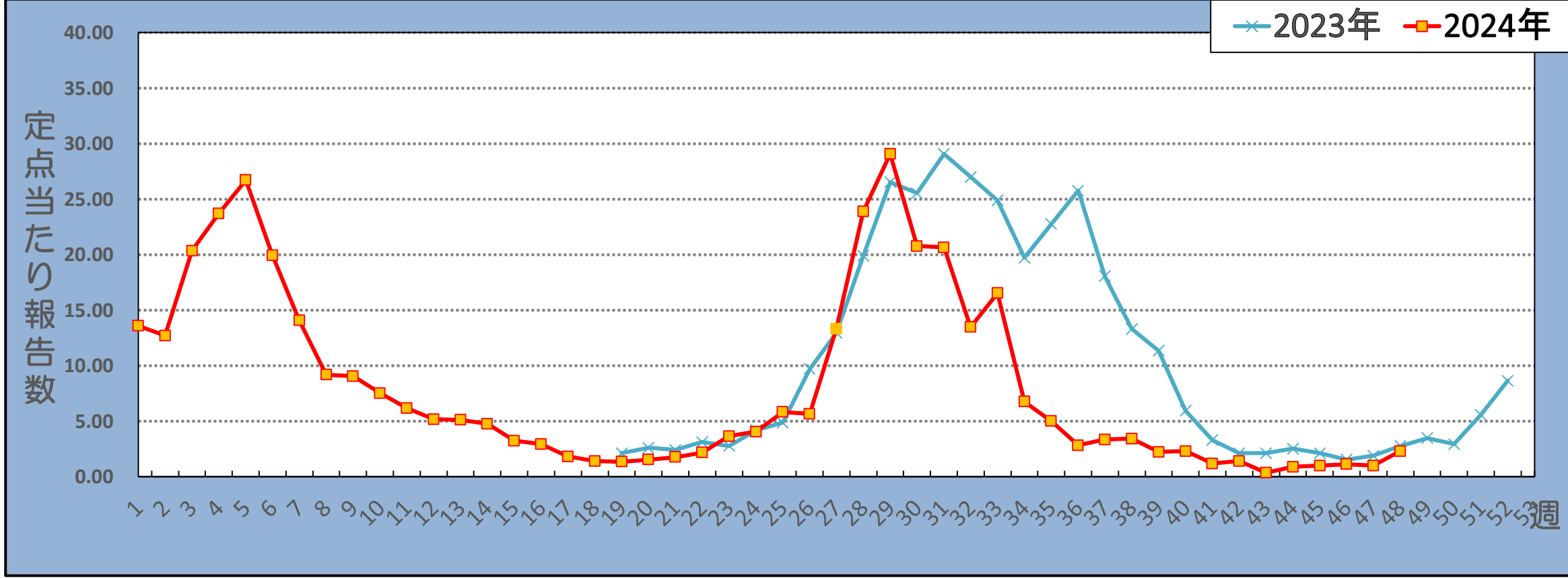
疾患名	警報レベル		注意報レベル
	開始基準値	終息基準値	基準値
インフルエンザ	30	10	10
感染性胃腸炎	20	12	

- ・警報レベル・・・大きな流行が発生または継続しつつあると疑われることを示します。
 - ・注意報レベル・・・流行の発生前であれば今後4週間以内に大きな流行が発生する可能性が高いこと、流行の発生後であれば流行が継続していると疑われることを示します。
- ※新型コロナウイルスについては、「警報レベル」および「注意報レベル」はありません。

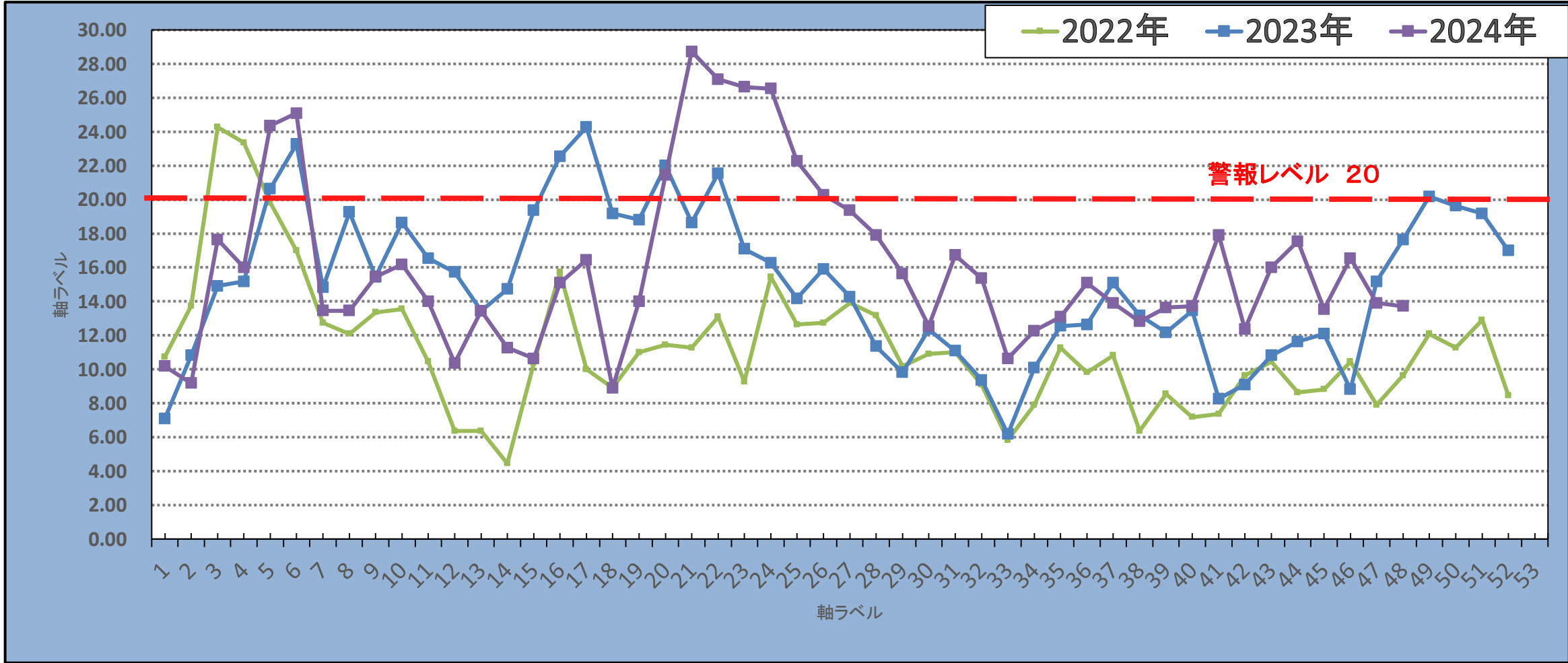
定点当たり報告数 インフルエンザ（3年間）



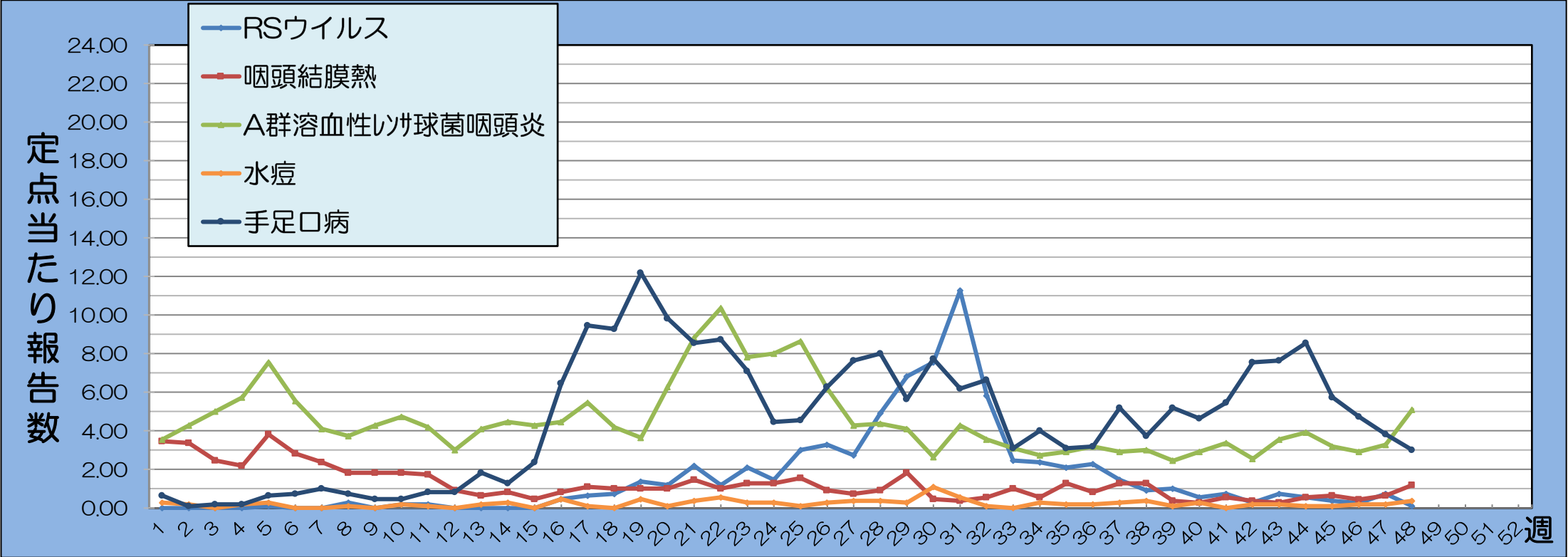
定点当たり報告数 新型コロナウイルス感染症



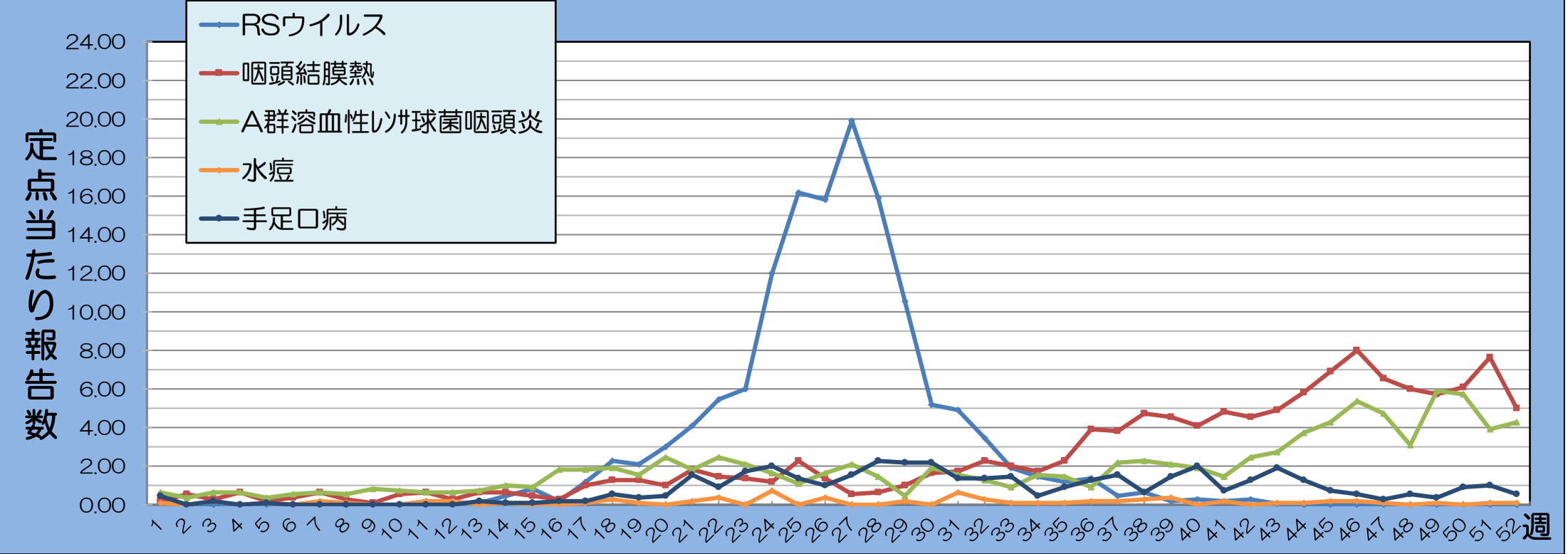
定点当たり報告数 感染性胃腸炎（3年間）



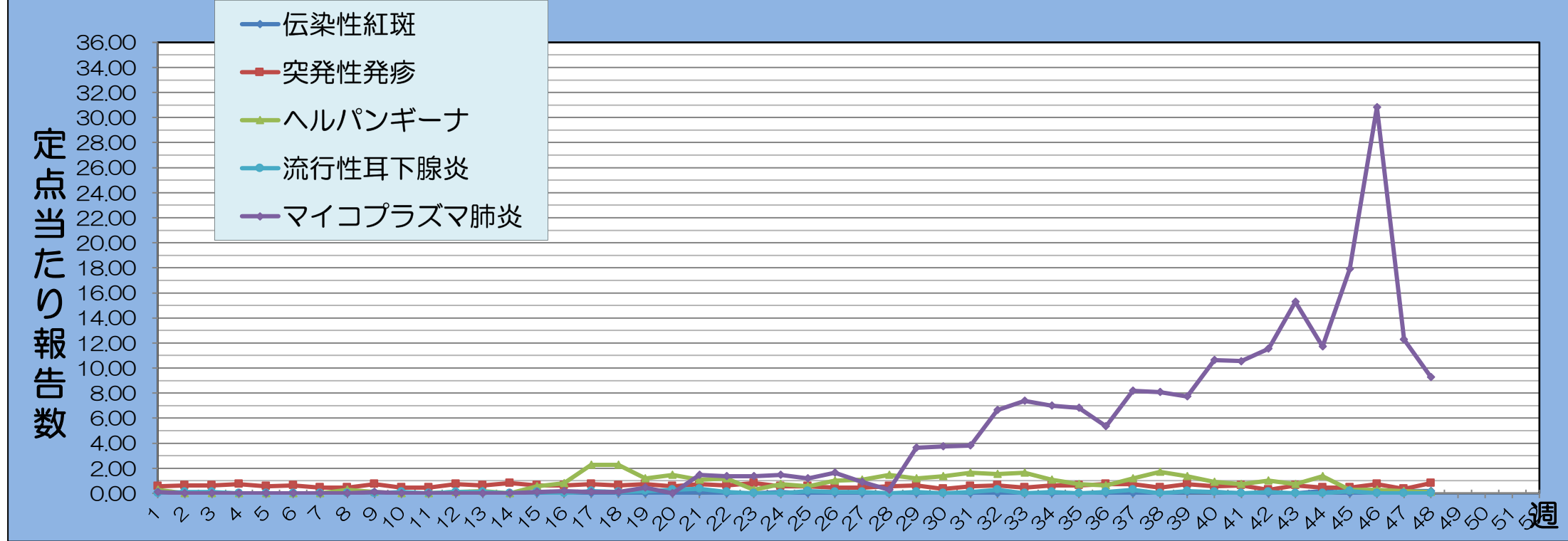
週別・疾病別患者数(グラフ)
2024



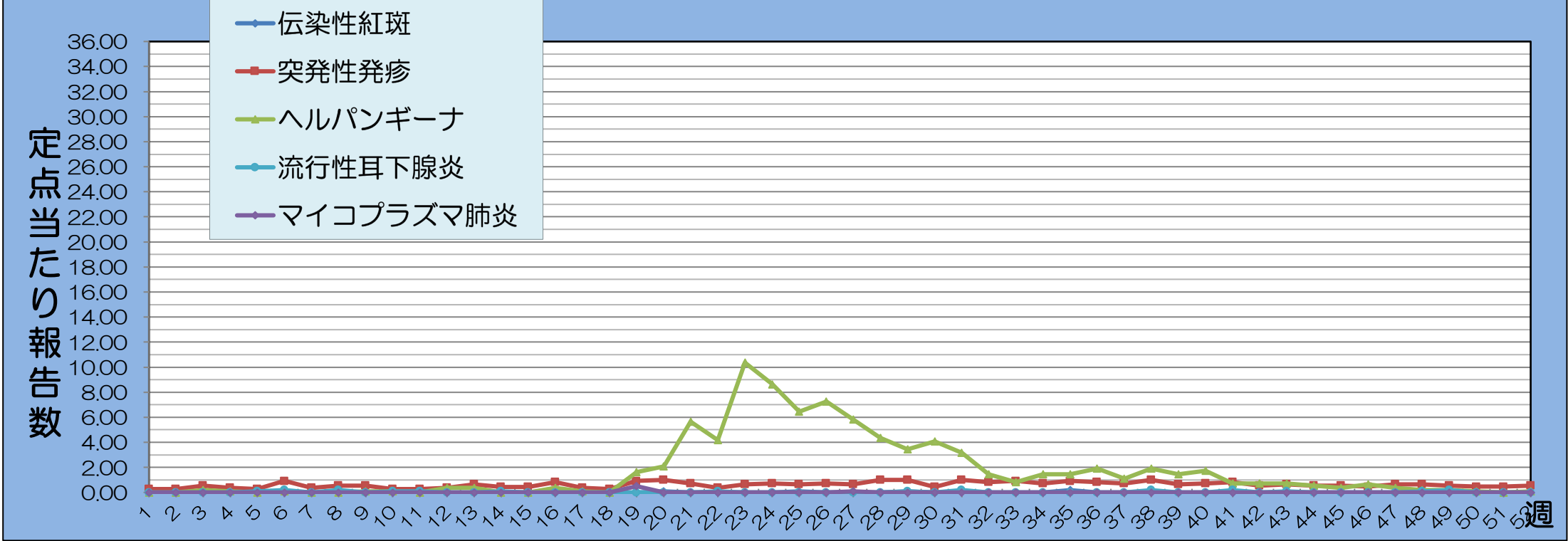
2023



2024



2023



掲載内容について不明な点は 大分市保健所保健予防課（TEL097-536-2851 FAX097-532-3356）までお問い合わせ下さい。